

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

公益社団法人 いちちょうの樹

目 次

I. 事業概況	1
II. 事業実績	
1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療等の医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図る事業	2
○ 診療実績 メンタルホスピタル鹿児島	
○ 診療実績 メンタルホスピタル鹿屋	
○ 精神科領域診療業務委託実績	
○ 患者サポート体制加算による窓口相談実績	
○ 鹿児島県精神科救急システム当番病院実績	
○ 鹿児島県精神科医療電話相談窓口実績	
○ 訪問看護実績	
○ 共同生活援助実績	
○ 就労継続支援事業実績	
○ リハビリテーション実績	
○ デイケア実績	
2. 生活困窮者に対して、無料又は低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図る事業	5
○ 無料低額診療実績	
3. 地域住民を対象とした予防措置や治療方法等の普及・啓発の事業実施、各種相談への対応を行うことで、精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図る事業	5
○ へき地医療・離島医療支援実績	
○ 無料メンタルヘルス相談会及びリワークプログラム実績	
○ 法人主催定期講演会	
○ 精神科領域等の講師派遣活動	
○ 地域支援活動等	
4. 精神科医療の担い手確保を視野においた、医療従事者の養成及び再教育を図る事業	10
○ 鹿児島看護専門学校 令和元年度入学者実績（1学年定員40名）	
○ 在校生	
○ 法人奨学生制度実績	
○ 鹿児島看護専門学校主催公開無料講座	
○ 地域医療従事者養成機関各種実習受け入れ	
○ 臨床研修病院（協力型研修病院）研修受け入れ 公益社団法人鹿児島共済会南風病院	
5. 法人事業運営	12
○ 定例理事会	
○ 臨時理事会	
○ 定時社員総会	
○ 常任理事会・幹部会議	

○ 法人主催行事	
6. 中長期事業計画の積極的推進	15
○ 本館建て替え事業の推進（メンタルホスピタル鹿児島）	
○ 電子カルテシステムの本稼働および医事会計システム、検査システム、薬局システムとの連携開始（メンタルホスピタル鹿児島）	
7. 職員の資質と意欲の向上を目指し、安心して働ける職場環境の整備	17
○ 人事考課制度及び給与制度の構築	
○ 働き方改革・同一労働同一賃金への対応	
○ 公的資格取得支援制度	
○ 障害者雇用	
<事業報告書附属明細書>職種別職員人数表（令和2年3月31日現在）	18

令和元年度 事業報告
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I. 事業概況

我々の予想を超えて急速に進む高齢化、人口減少は、社会構造の変革をもたらし、深刻な人手不足を引き起こしている。国も新たな在留資格「特定技能制度」を作り、対応に動き出している。介護（看護補助者含む）や外食業（医療福祉施設給食含む）も対象業種になっており、今後外国人労働者なくしては、医療福祉は成り立たなくなると思われる。

本年4月からは働き方改革関連法が施行され、病院職員の労務管理が厳格化、特に医師の勤務管理に関する労働基準法を中心とする法令遵守を徹底する必要性に迫られている。医師の応召義務や宿日直の問題など解決すべき点は多いが、医師の勤務環境改善の為にはもちろん、良質で健全なる医療や病院経営のためにも、必要不可欠なことである。

また10月には、消費税の引き上げが行われた。社会保険診療等に係る医療は消費税非課税である一方、その価格は診療報酬制度による公定価格となっているため、平成元年の消費税導入以来、仕入れ税額相当分を診療報酬で補てんする措置が講じられてきた。しかし、補てんにばらつきがある等の指摘があり、今般の消費税率10%への引き上げに際しては、診療報酬の配転方法を精緻化することにより、医療機関種別の補てんのばらつきが是正された。消費税は損税といわれる他の一般科病院に比して、精神科病院では15%の益税であったこともあり、今回の診療報酬改定での特定入院料上乘せ率は2%前後に抑えられており、より効率的な病院経営が求められる状況になっている。

平成28年12月、カジノ法の呼び名で注目を集めるIR推進法（統合型リゾート整備推進法案）が成立し、ギャンブル依存症をはじめ、アルコール依存症やネット依存症などの依存症対策が急務になってきている。厚生労働省もこのことは重要視しており、今後行政機関との連携を含め、各医療機関が十分に対応できるよう診療体制をより充実させる必要がある。

このような様々なことに対応できるように、令和元年度も、職員一人一人が医療従事者としての自覚を持って努力し、精神障害者に対する急性期医療を行った。さらに、安全で快適な療養環境の確保を中心とした医療の提供及び社会復帰のための各種支援を行うなど、慢性期医療にも尽力した。これらを通して、公衆衛生の向上を図り、地域社会の健全な発展に寄与するために、事業計画に基づいた事業運営を行った。

II. 事業実績

1. 精神障害者に対して、救急・急性期治療等の医療を提供するとともに、リハビリテーションの実施をはじめとする各種社会復帰のための支援を行うことで、公衆衛生の向上を図る事業

- 診療実績 メンタルホスピタル鹿児島 (466床 平成31年4月～令和元年8月)
 (454床 令和元年9月～令和元年12月)
 (450床 令和2年1月～令和2年3月)

月単位	精神一般病棟 ～8/31 306床 9/1～ 296床 1/1～ 352床		地域移行機能 強化病棟 ～12/31 60床 1/1 辞退		精神科急性期 治療病棟 ～8/31 50床 9/1～ 48床		認知症治療病棟 50床		外来 患者数
	平均 入院 患者数	病床 稼働率	平均 入院 患者数	病床 稼働率	平均 入院 患者数	病床 稼働率	平均 入院 患者数	病床 稼働率	
H31.4	286.4	96.8	59.0	97.8	34.2	71.3	39.2	78.5	1,590
R元.5	284.3	96.0	57.0	95.0	35.0	72.9	41.8	83.6	1,656
R元.6	281.7	95.2	57.0	94.5	37.3	77.8	40.9	81.8	1,597
R元.7	284.9	96.3	56.0	93.5	39.5	82.3	38.5	77.0	1,741
R元.8	280.3	94.7	57.0	94.6	39.6	82.5	38.2	76.4	1,637
R元.9	279.7	94.5	57.0	95.3	37.2	77.6	40.6	81.1	1,642
R元.10	279.2	94.3	56.0	94.1	36.9	76.8	43.5	87.0	1,765
R元.11	275.7	93.1	57.0	95.5	37.8	78.7	40.7	81.3	1,667
R元.12	281.3	95.0	58.0	96.5	31.8	66.3	44.0	88.0	1,680
R2.1	339.9	96.6	-	-	40.4	84.1	44.4	88.8	1,656
R2.2	344.3	97.8	-	-	43.3	90.2	45.7	91.4	1,601
R2.3	343.1	97.5	-	-	42.7	89.0	44.8	89.7	1,841
合計									20,073
平均	296.7	95.5	57.1	95.2	38.0	79.1	41.9	83.7	1672.8
前年比	/	+3.3	/	▲0.9	/	+1.4	/	+5.5	+20.9

○ 診療実績（メンタルホスピタル鹿屋 230 床）

月単位	精神一般病棟（230 床）		内 認知症疾患 医療センター 関連入院数	外来 患者数	内 認知症疾患 医療センター 関連外来数
	平均 入院 患者数	病床 稼働率			
H31.4	209.2	91.0	7	1,649	196
R元.5	209.5	91.1	5	1,460	195
R元.6	204.1	88.8	10	1,542	201
R元.7	208.3	90.6	9	1,642	210
R元.8	210.5	91.5	8	1,576	205
R元.9	208.2	90.5	14	1,588	205
R元.10	201.1	87.4	9	1,720	200
R元.11	205.7	89.4	10	1,605	191
R元.12	202.4	88.0	10	1,649	202
R2.1	204.6	88.9	12	1,548	191
R2.2	204.6	89.0	10	1,586	198
R2.3	203.4	88.4	9	1,741	185
合計			113	19,306	2,379
平均	206.0	89.6	9.4	1608.8	198.3
前年比	▲1.7		+2.9	+136.3	+4.5

○ 精神科領域診療業務受託実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）		
診療業務委託元	年間診療回数	診療患者延数
米盛病院	52 回（+1）	386 人（+159）

○ 患者サポート体制充実加算による窓口相談実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）	
相談件数	
6,014 件（▲1）	

○ 鹿児島県精神科救急システム当番病院実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）		メンタルホスピタル鹿屋（前年比）	
当番回数	対応件数	当番回数	対応件数
6 回（▲3）	16 件（+8）	8 回（+1）	7 件（▲1）

○ 鹿児島県精神科医療電話相談窓口実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）		メンタルホスピタル鹿屋（前年比）	
当番回数	対応件数	当番回数	対応件数
11回（+6）	19件（+14）	10回（+2）	17件（+8）

（４）精神科訪問看護事業の実施

○ 訪問看護実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）	メンタルホスピタル鹿屋（前年比）
訪問件数	訪問件数
2,068件（▲451）	2,465件（▲1,040）

（５）精神障害者に対する障害福祉サービス事業の実施

○ 共同生活援助実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）		メンタルホスピタル鹿屋（前年比）
グループホームアミカ （4床）	グループホームホープ （20床）	グループホーム集 （4床）
利用者延数	利用者延数	利用者延数
1,116人（▲165）	6,753人（+331）	732人（▲283）

○ 就労継続支援事業実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）
就労継続支援事業所B型えい吉
利用者延数
882人（▲104）

（６）精神科リハビリテーション・作業療法の実施

○ リハビリテーション実績

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）				メンタルホスピタル鹿屋（前年比）
作業療法	理学療法	言語療法	認知症 リハビリテーション （7/1～算定）	作業療法
年間実施延数	年間実施延数	年間実施延数	年間実施延数	年間実施延数
46,173人（+2,441）	2,315人（+291）	456人（新規）	2,580人（新規）	28,201人（+1,209）

(7) 退院後の社会生活機能回復を目的とする精神障害者デイケア事業の実施

○ デイケア実績

メンタルホスピタル鹿児島 (前年比)			メンタルホスピタル鹿屋 (前年比)
デイケア	デイナーケア	ショートケア	デイケア
利用者延数	利用者延数	利用者延数	利用者延数
4,191人 (+398)	1,897人 (+278)	518人 (+159)	5,021人 (+441)

2. 生活困窮者に対して、無料又は低額な診療を提供することで、公衆衛生の向上を図る事業 (メンタルホスピタル鹿児島・メンタルホスピタル鹿屋)

○ 無料低額診療実績

メンタルホスピタル鹿児島 (前年比)	メンタルホスピタル鹿屋 (前年比)
利用者延数	利用者延数
29人 (+29)	166人 (+166)

3. 地域住民を対象とした予防措置や治療方法等の普及・啓発の事業実施、各種相談への対応を行なうことで、精神科医療への理解促進と地域の福祉向上を図る事業

(メンタルホスピタル鹿児島・メンタルホスピタル鹿屋)

(1) 精神科無医地区における無料巡回相談及び巡回診療の実施

○ へき地医療・離島医療支援実績

メンタルホスピタル鹿児島 (前年比)		
診療支援先	支援回数	診療患者総数
薩摩川内市下甕手打診療所	10回 (▲2)	33人 (▲92)

(2) 職場におけるメンタルヘルス及び職場復帰支援

○ 無料メンタルヘルス相談会実績及びリワークプログラム

メンタルホスピタル鹿児島 (前年比)		
無料メンタルヘルス相談延数	リワークプログラム	
31件 (▲2)	開所回数	利用者数
	185回 (+51)	492名 (+245)

(3) 法人主催の講演会の開催

開催日	開催場所	講演会内容
令和元年12月14日	<ul style="list-style-type: none"> メンタルホスピタル 鹿屋 体育館 メンタルホスピタル 鹿児島 (ネット中継) 	<p>「入院治療から地域での生活への潮流」</p> <p>講師 村田 昌彦 先生 (独立行政法人国立病院機構榊原病院 院長)</p> <p>参加人数 215名</p>

(4) 行政機関等他団体主催講演会等への職員派遣

○ 精神科領域等の講師派遣活動

事業所名	職員氏名	派遣日	派遣先	研修会名
メンタルホスピタル 鹿児島	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	令和元年6月14日	鹿児島市	メンタルヘルズ講演会 「ストレス性疾患予防 のために～ うつ病、睡眠障害の理 解を通して～」
	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	令和元年7月9日	鹿児島市	メンタルヘルズ講演会 「ストレス性疾患予防 のために～ うつ病、睡眠障害の理 解を通して～」
	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	令和元年9月2日	吉富薬品	社内勉強会 「双極性障害と その治療について」
	佐藤 大輔 (精神保健指定医)	令和2年2月1日	鹿児島たくみ 精神懇話会	抗精神病薬の 単剤化と剤型 ～単剤化に適した 剤型とは?～
	黒木 和博 (看護師)	平成31年4月26日	鹿児島市精神保健 福祉交流センター	鹿児島県精神病院協会 看護部長会 総会
	小山 恵里 (ピアサポーター)	令和元年6月22日	はーと・ぱーく	ピアスタッフと 語ろう
	小山 恵里 (ピアサポーター)	令和元年6月29日～ 30日	はーと・ぱーく	ピアサポーター 養成講座
	小山 恵里 鎌田 信弘 (ピアサポーター)	令和元年8月3日～ 4日	大崎町中央公民館	ピアサポーター 養成講座
	小山 恵里 (ピアサポーター) 寺田 真美 (精神保健福祉士)	令和元年8月23日	就労支援事業所 「リバーサイド」	「ピアとして 働くこと」講師
	小山 恵里 鎌田 信弘 (ピアサポーター) 福永 康孝 (精神保健福祉士)	令和元年11月1日	宮崎市民文化ホー ル	意見交換会

	小山 恵里 (ピアサポーター) 福永 康孝 (精神保健福祉士)	令和2年2月22日～ 23日	徳之島保健所	ピアサポーター 養成講座 講師
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	令和2年2月19日～ 21日	サンロイヤルホテル	鹿児島県 相談支援従事者研修 ファシリテーター
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	令和元年9月18日～ 20日	青少年会館	鹿児島県 サービス管理責任者 ・児童発達支援 管理責任者更新研修 ファシリテーター
	福永 康孝 (精神保健福祉士)	令和2年1月14日 令和2年1月21日	志学館大学	精神保健福祉士援助実 習講師
	竹ノ内 瞳 (公認心理師)	令和元年7月16日	就労移行支援事業 所リバーサル鹿児島	就労プログラム (「ストレスマネジメント について」)
	鶴田 絢子 (公認心理師)	令和元年12月17日	就労移行支援事業 所リバーサル鹿児島	就労プログラム 「気持ちとの 付き合い方」
	松永 絹子 (保健師)	令和元年7月18日	鹿児島市役所	介護予防 地域ケア会議
	松永 絹子 (保健師)	令和元年9月2日	国分シビック センター	鹿児島県相談包括化推 進員養成講座
	松永 絹子 (保健師)	令和元年10月10日	鹿児島市女性会館	介護予防 地域ケア会議
	松永 絹子 (保健師)	令和元年10月19日	鹿児島市精神保健 福祉交流センター	統合失調症の 兄弟姉妹の会
	松永 絹子 (保健師)	令和元年12月6日	鹿児島地域振興局 日置庁舎	こころの健康教室
	松永 絹子 (保健師)	令和元年12月16日	鹿児島地域振興局 本庁舎	こころの健康教室
	松永 絹子 (保健師)	令和2年1月29日	鹿児島市役所	介護予防 地域ケア会議
	寺田 真美 (精神保健福祉士)	令和元年9月20日	就労移行支援事業 所 リバーサル	就労プログラム 講師
	小山 恵理 (ピアサポーター)	令和元年8月23日	鹿児島	

	久保田 真作 (公認心理師)	令和元年 8 月 23 日	更生保護法人 日本更生保護協会 (指宿地区)	令和元年度 保護司会 SST 自主研修
	久保田 真作 (公認心理師)	令和元年 9 月 5 日	更生保護法人 日本更生保護協会 (鹿児島地区)	令和元年度 保護司会 SST 自主研修
	松永 絹子 (保健師)	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	ハローワーク	医療機関と職業安定所 の連携による就労支援 モデル事業 責任者
	寺田 真美 (精神保健福祉士)	平成 31 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	ハローワーク	医療機関と職業安定所 の連携による就労支援 モデル事業 コーディネーター
メンタルホスピタル 鹿屋	林田 里恵 (公認心理師)	令和元年 7 月 17 日	有明中学校	ゲートキーパー養成 講座
	林田 里恵 (公認心理師)	令和元年 7 月 18 日	宇都中学校	ゲートキーパー養成 講座
	林田 里恵 (公認心理師)	令和元年 10 月 6 日	管牟田小学校	ゲートキーパー養成 講座
	林田 里恵 (公認心理師)	令和元年 11 月 27 日	志布志中学校	ゲートキーパー養成 講座
	林田 里恵 (公認心理師)	令和元年 12 月 5 日	伊崎田中学校	ゲートキーパー養成 講座
	小林 憲史 (精神保健指定医)	令和 2 年 1 月 30 日	県医師会	認知症サポート医フォ ローアップ研修

○ 地域支援活動等

事業所名	職員氏名	地域支援活動等
メンタルホスピタル 鹿児島	佐藤 大輔	鹿児島市精神保健嘱託医
		鹿児島市嘱託医
		鹿児島市保護第一課 鹿児島市生活保護嘱託医
		鹿児島市医師会病院 協力運営委員
		鹿児島県精神保健福祉協議会 鹿児島県精神医療審査会委員
		鹿児島県立始良病院 医療観察法病棟倫理会議委員
		公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価サーベイヤー
	被害者支援ネットワーク西 会員	
松原 康久	被害者支援ネットワーク西 幹事	

	福永 康孝	鹿児島県精神保健福祉士協会 理事
	道添 歌織	鹿児島県精神保健福祉士協会 災害対策委員
	越智 裕之	鹿児島市令和元年度長期入院精神障害者の地域移行推進事業 病院相談窓口担当者
	福永 康孝	城西地区地域ケア推進会議 委員
	福永 康孝 早川 幸人	福祉フェスタ in はらら事務局 企画運営委員
	米満 裕之 長田 智子 早田 善幸 山之内 美穂 丸野 汐美 福岡 真紀 成枝 南波 川畑 悠司 大倉野 実篤 竹ノ内 瞳 谷川 加奈子 上松 久美子 富永 法子 寺田 真美	永吉地区健康クラブ
	早川 幸人 吉野 通代 下村 真子 矢崎 舞子 桑田 阿友美 寺田 真美 鶴田 絢子	オレンジテラス in ながよし
	小山 恵里 越智 裕之 道添 歌織	鹿児島ピアサポーターの集い
	山本 桂子	認知症サポーター養成講座
	竹ノ内 瞳	鹿児島県臨床心理士会会長
	竹ノ内 瞳	認知症カフェ（ふれあいカフェいちょうの樹）4/20, 6/15, 10/19
	鶴田 絢子	認知症カフェ（ふれあいカフェいちょうの樹）6/15, 11/16
	中山 優紀	鹿児島県作業療法士協会代議員
	吉崎 琴子 早田 善幸	あじさい城西（鹿児島市支援支えて育成モデル事業）

メンタルホスピタル 鹿屋	小林 憲史	介護保険審査会
		大隅地域振興局 精神保健福祉相談医
	福原 香織	大隅地域振興局 精神保健福祉相談医
	山下 昇子	障害区分認定審査会
	新西 真理恵	鹿屋市看護専門学校
		鹿屋市社会福祉協議会
中村 修	障害者施設 岳風会講師	

4. 精神科医療の担い手確保を視野においた医療従事者の養成及び再教育を図る事業 (鹿児島看護専門学校・メンタルホスピタル鹿児島・メンタルホスピタル鹿屋)

(1) 地域の精神科医療を担う看護師養成学校として独自の教育課程を実施する看護専門学校の新設・運営

○ 令和元年度入学者実績 (1 学年定員 40 名) (前年比)

応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
63 名 (▲18)	61 名 (▲20)	47 名 (▲8)	32 名 (▲6)

○ 在校生 (令和 2 年 3 月末日現在) (前年比)

1 年生	2 年生	3 年生	合計
31 名	40 名	37 名	108 名 (▲7)

(2) 希望者全員を対象とした奨学金貸与制度の実施

○ 法人奨学金制度実績 (前年比)

1 年生	2 年生	3 年生	合計
8 名	11 名	14 名	33 名 (▲4)

(3) 鹿児島看護専門学校主催公開無料講座

開催日	開催場所	講座内容
平成 31 年 4 月 26 日	メンタルホスピタル 鹿児島 新館多目的ホール	演題：「これからの看護のかたち」 ～学生の限らない可能性に向けて～ 講師：種子島医療センター看護 PR 大使 松原 奈佑 氏
令和 2 年 2 月 21 日	メンタルホスピタル 鹿児島 新館多目的ホール	演題：「社会人としてのマナー」 ～病院・医院・施設でのマナーと言葉遣い～ 講師：(有) カルチャー・コネクション 山野 真理 氏

(4) 地域医療従事者養成機関各種実習受け入れ

事業所名	実習依頼先	実習期間	実習目的	延 人数
メンタルホスピタル 鹿児島	鹿児島看護専門学校	平成 31 年 4 月 8 日～25 日	精神看護学実習	348
	鹿児島看護専門学校	令和元年 6 月 25 日～7 月 11 日	精神看護学実習	96
	神村学園高等部 看護学科専門課程	令和元年 5 月 20 日～30 日	精神看護学実習	160
	神村学園高等部 看護学科専門課程	令和元年 6 月 3 日～13 日	精神看護学実習	160
	龍桜高等学校 看護専門学校	令和元年 7 月 22 日～8 月 8 日	精神看護学実習	300
	神村学園専修学校 看護学科	令和元年 9 月 24 日～10 月 4 日	精神看護学実習	153
	神村学園専修学校 看護学科	令和元年 10 月 7 日～18 日	精神看護学実習	171
	九州医療福祉専門学校	令和元年 10 月 7 日～21 日 令和 2 年 1 月 16 日～30 日	精神保健福祉援助 実習	24
	京都医療福祉専門学校	令和元年 10 月 7 日～21 日	精神保健福祉援助 実習	12
	鹿児島大学大学院	令和元年 6 月 3 日～7 日	臨床心理地域援助 実習	10
	鹿児島大学大学院	令和元年 11 月 13 日～19 日	臨床心理地域援助 実習	12
	志學館大学大学院	令和元年 7 月 29 日～8 月 7 日	臨床心理実習	24
	鹿児島純心女子大学 大学院	令和元年 9 月 1 日～11 月 30 日	臨床心理実習	12
	鹿児島純心女子大学 大学院	令和元年 9 月 12 日	臨床心理基礎実習	5
	志學館大学人間関係学部	令和 2 年 2 月 14 日	心理実践実習	2
	鹿児島大学	令和元年 8 月 26 日～10 月 4 日	長期臨床実習 (作業療法)	30
	鹿児島医療技術専門学校	令和元年 5 月 13 日～7 月 5 日	長期臨床実習 (作業療法)	50
	熊本駅前看護リハビリ 学院	令和元年 6 月 24 日～8 月 15 日	長期臨床実習 (作業療法)	40
	神村学園専修学校	令和元年 10 月 7 日～11 月 1 日	臨床評価実習 (作業療法)	15
	鹿児島医療技術専門学校	令和 2 年 1 月 20 日～2 月 7 日	臨床評価実習	15

			(作業療法)	
	鹿児島医療技術専門学校	令和2年2月25日～28日 令和2年3月2日～6日	臨床見学実習 (作業療法)	10
	九州保健福祉大学	令和2年2月10日～14日	臨床見学実習 (作業療法)	5
	鹿児島県医療法人協会立 看護専門学校	令和元年7月17日～19日 令和元年7月23日～26日	精神科看護実習 (デイケア)	9
メンタルホスピタル 鹿屋	麻生医療福祉専門学校	令和2年2月3日～19日	PSW 精神保健福祉 実習	1

(5) 臨床研修病院（協力型研修病院）研修受け入れ 公益社団法人鹿児島共済会南風病院

メンタルホスピタル鹿児島（前年比）
受入研修医数
1名（▲3）

5. 法人事業運営

○ 定例理事会

① 令和元年6月9日（日）

（議題）

【決議事項】

第1号議案 平成30年度 事業報告・決算書類承認について
監事監査報告

第2号議案 任期満了に伴う理事候補者選任について

第3号議案 社員申込者の入社可否について

第4号議案 定時社員総会（令和元年6月24日）の開催について

第5号議案 臨時理事会（令和元年6月24日）の開催について

第6号議案 契約案件

第7号議案 規程の変更について

【報告事項】

・職務執行状況報告（平成31年3月以降）

・中期経営計画について

② 令和2年3月23日（月）

（議題）

【決議事項】

第1号議案 令和2年度 事業計画案・収支予算案について

第2号議案 規程の制定及び改正について

※同一労働・同一賃金関係

- ①パート職員退職金規程の制定
- ②パートタイム職員就業規則の改正
- ③パートタイマー職員等給与規程の改正
- ④再雇用職員給与規程の改正
- ⑤職員退職金規程の改正

※組織整備関係

- ①メンタルホスピタル鹿児島職務権限規程の改正

【報告事項】

- ①令和元年12月理事会以降のメンタルホスピタル鹿児島本館建て替えに係る状況について
- ②職務執行状況報告（令和元年6月以降）
- ③人事案件（令和元年6月以降）

○ 臨時理事会

- ① 令和元年6月24日（月）

（議題）

【決議事項】

- 第1号議案 任期満了に伴う代表理事・専務理事・常任理事の選任について
- 第2号議案 新任の代表理事・専務理事・常任理事の役員報酬について
- 第3号議案 法人事務局長の選任について
- 第4号議案 契約案件
- 第5号議案 各規程変更について
 - ①企画・コンプライアンス委員会運営規則
 - ②理事会運営規則

- ② 令和元年7月31日（水）

（議題）

【報告事項】

メンタルホスピタル鹿児島の本館の移転新築又は建替えに係るこれまでの経緯と今後の取組みについて

【決議事項】

- 第1号議案 メンタルホスピタル鹿児島の慢性期病棟の新築又は建替えについて

- ③ 令和元年12月23日（月）

（議題）

【決議事項】

- 第1号議案 就業規則変更について

第2号議案 契約案件について

【報告事項】

- ・メンタルホスピタル鹿児島の本館の建て替えに係る状況と今後の取組みについて

○ 定時社員総会

① 令和元年6月24日（月）

（議題）

【報告事項】

- ・社員入社のご報告
- ・平成30年度事業報告

【決議事項】

第1号議案 平成30年度 計算書類等の承認について

第2号議案 任期満了に伴う理事の改選について

第3号議案 定款変更について

○ 常任理事会・幹部会議

① 令和元年6月4日（火）

（議題）

- ・令和元年6月9日臨時理事会に付議する事項の協議
- ・定款変更について
- ・令和元年7月賞与支給について

② 令和元年7月16日（火）

（議題）

- ・令和元年7月31日臨時理事会に付議する事項の協議

③ 令和元年11月7日（木）

（議題）

- ・令和元年度冬季賞与支給について
- ・火災保険契約更新について
- ・職員奨学金貸付について

（報告事項）

- ・「メンタルホスピタル鹿児島新規事業推進室」の設置について 他

④ 令和元年12月10日（火）

（議題）

- ・令和元年12月23日臨時理事会に付議する事項の協議 他

⑤ 令和2年1月30日(木)

(議題)

・令和2年度予算設備投資計画について

⑥ 令和2年3月12日(木)

(議題)

・令和2年3月23日定例理事会に付議する事項の協議 他

○ 法人行事

① 法人役員と各事業所職員による意見交換会

令和元年9月27日(金) 城山ホテル鹿児島

役員14名、職員8名 計22名

② 定期講演会・合同学会

開催日：令和元年12月14日(土)

<定期講演会>

講師：独立行政法人国立病院機構榊原病院 院長 村田 昌彦 先生

演題：入院治療から地域での生活への潮流

会場：メンタルホスピタル鹿屋 体育館

メンタルホスピタル鹿児島(ネット中継) 計 215名 参加

<合同学会>

会場：メンタルホスピタル鹿屋 体育館

メンタルホスピタル鹿児島(ネット中継) 計 206名 参加

6. 中期経営計画の積極的推進

○ 本館建て替え事業の推進(メンタルホスピタル鹿児島)

(1) 経緯

メンタルホスピタル鹿児島の本館(慢性期病棟)については、中長期Project計画において、精神療養病棟等の機能を持つ新たな病院として整備することとし、平成23年に鹿児島市松元町石谷に用地を確保し、造成工事や取り付け道路の整備を進めてきた。

然しながらその後国において、少子高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増大等を踏まえ、平成26年にいわゆる「医療介護総合確保法」を制定し、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる社会を実現するため、地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・地域連携等を推進することとされ、改革の方向性の一つに「患者ができるだけ早く社会に復帰し、地域で継続して生活を送れるようにする」ことが示され、いわば在宅医療へと大きくシフトされた。

この一環として、医療機関においては、自主的に病棟ごとの医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)を選択し、県に報告する病床機能報告制度が創設された。県はこれをもとに、地域

医療構想（地域の医療提供体制の将来のあるべき姿）を策定し、目指すべき医療提供体制の実現を進めることとされたところである。

メンタルホスピタル鹿児島においても、今後の少子高齢化の進展や当院の患者動向等を見極め、病床機能の再検討、在宅部門の強化、疾患予防のための異業種等の交流を通じた新しいシーズの掘り起し、専門外来の設置検討などを進め、地域にひらかれた、地域と一体となったオープンな病院を目指すこととしている。

このようなことから、メンタルホスピタル鹿児島の企画会議及び常任理事会にて、本館を石谷地区に移転新築することについて、一つの病院を二つにするものの是非や患者様や職員の利便性など、比較検討した結果、現在地の鹿児島市永吉地区での建て替えが望ましいとの結論に至り、令和元年7月31日の臨時理事会にて、現在地での建て替えが決議された。

（2）推進体制の整備

建て替え事業の積極的推進を図るために、令和元年11月1日、メンタルホスピタル鹿児島内に、事務局機能として理事長直轄の新規事業推進室を設置した。また、推進体制として病院長、専務理事、常任理事、副院長、院内各部長、鹿児島看護専門学校事務長12名で構成する「新規事業推進委員会」を設置し、毎週木曜日に定例会議を開き重要事項を決定・協議し、その内部組織として委員会に諮る重要事項を検討する院長、専務理事、常任理事、室長、病院事務長、学校事務長6名で構成する推進室会議を毎週月曜日に開催している。

（3）医療コンサルタント及びCM方式の採用

今回の建て替え計画は、いちよしの樹の将来の命運をかけたビッグプロジェクトであり、まず、現状分析のための内部・外部調査、収支・資金繰り・返済計画、基本戦略の策定などのソフト面での計画・検証が必要であることから、現状分析・基本戦略策定・基本計画策定の支援業務を医療コンサルタントに委託することとし、ヒヤリングを行った3社から業務提案書等を提出してもらい、新規事業推進委員会メンバーによる総合評価方式による審査の結果、東京在住の㈱メディヴァと契約を交わした。

また、ハード面では、CM（コンストラクション・マネジメント）方式の採用により、

- ① 公益社団法人として透明性・客観性が求められている当法人がCM（コンストラクション・マネジメント）方式を導入することにより、発注プロセスの透明性が確保できること
- ② 価格の妥当性や質を保持しつつ工事費削減を図るためのコストの適正化が期待できること
- ③ 現敷地内で部分建て替えと解体を繰り返すローリング計画については、CMの経験値が大きく生かされ、安全面の確保や工期に大きく影響すること等のメリットがあることから、CM方式の採用を決定し、現在、ヒヤリングを行った5社について選定作業を行う予定である。

なお、基本構想は・基本計画の策定は、一部を含め医療コンサルタントとCMが協業してまとめる予定にしており、概ね年内の終了を目指している。

- 電子カルテシステムの本稼働および医事会計システム、検査システム、薬局システムとの連携開始（メンタルホスピタル鹿児島）

運用構築、各種マスタ構築、操作教育、運用試験を経て、令和元年6月、電子カルテシステムの本稼働を開始した。また、電子カルテシステムと医事会計システム、検査システムおよび薬局システムとの連携を行い、迅速に業務が行えるようになった。

7. 職員の資質と意欲の向上を目指し、安心して働ける職場環境の整備

- 人事考課制度及び給与制度の構築

平成30年5月から取り組んできた人事考課制度について、平成31年4月から試行中である。試行中に発生する問題点や疑問点を把握しつつ、令和2年10月から本格運用を行う予定である。

また、並行して給与制度の構築に向けて現状の分析や今後の方向性について検討を行った。

- 働き方改革・同一労働同一賃金への対応

令和2年4月より施行されるパートタイム・有期雇用労働法に対応するため、各規程の改正を行った。今後は、正職員・短時間労働者・有期雇用労働者との間において、あらゆる待遇について、不合理な差を無くすことにし、働きやすい職場環境づくりに取り組む予定である。

- 公的資格取得支援制度

利用者1名（精神保健福祉士）

- 障害者雇用

身体障害者2名、精神障害者8名

<事業報告書附属明細書>○職種別職員人数表（令和2年3月31日現在）

職種	MH鹿児島		MH鹿屋		鹿児島看護専門学校		法人統括本部		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	13	20	5	3	0	0	0	0	18	23
薬剤師	5	1	2	0	0	0	0	0	7	1
看護師	112	14	60	1	0	0	0	0	172	15
准看護師	35	8	30	0	0	0	0	0	65	8
介護福祉士	21	0	7	0	0	0	0	0	28	0
診療放射線技師	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
臨床検査技師	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
公認心理師	5	0	2	0	0	0	0	0	7	0
作業療法士	16	2	10	0	0	0	0	0	26	2
理学療法士	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
言語聴覚士	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
精神保健福祉士	20	0	6	0	0	0	0	0	26	0
社会福祉士	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
管理栄養士	3	0	4	0	0	0	0	0	7	0
事務職	20	5	9	1	3	1	9	1	41	8
保育士	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0
調理師	0	0	12	1	0	0	0	0	12	1
調理員	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0
宮繕	5	1	4	2	0	0	0	0	9	3
看護助手	20	3	14	0	0	0	0	0	34	3
薬剤助手	2	0	2	1	0	0	0	0	4	1
中央材料助手	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
作業療法助手	3	2	1	0	0	0	0	0	4	2
検査助手	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
GH世話人	2	1	1	0	0	0	0	0	3	1
ピアサポーター	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
クリーンスタッフ	2	6	0	0	0	0	0	0	2	6
職業指導員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
音楽療法講師	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
教務	0	0	0	0	15	0	0	0	15	0
図書司書	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
小計	295	67	174	9	18	2	9	1	496	79
合計	362		183		20		10		575	

※非常勤…非常勤医師・パートなど